JST 先端計測分析技術・機器開発事業

平成16年度新規採択課題29件

1面に関連記事

【機器開発プログラム（領域特定型）】

「生体内・細胞内の生体高分子の高分解能動態解析（原子・分子レベル、局所・三次元解析）」

◇生体分子三次元高分解能動態解析装置の開発（伊東修一・オリンパスバイオサイエンス開発部技術開発G課長代理）

◇超高速バイオナノスコープの開発（江藤剛治・近畿大学理工学部教授）

◇顕微質量分析装置の開発（瀬藤光利・自然科学研究機構岡崎統合バイオサイエンスセンター助教授）

◇X線HARPを用いた生体超高分子構造機能解析装置（若槻壮市・高エネルギー加速器研究機構物質構造科学研究所教授）

「実験小動物の生体内の代謝の個体レベルでの無・低侵襲的解析、可視化」

◇レドックス動態の磁気共鳴統合画像解析システム（内海英雄・九州大学大学院薬学研究院教授（副研究院長））

◇実験動物用のオプティカルバイオプシーシステムの開発（佐藤英俊・理化学研究所田代分子計測工学研究室研究員）

◇到来方向測定による高感度ガンマ線3Dカメラの開発（谷森達・京都大学大学院理学研究科教授）

「ナノレベルの物質構造三次元可視化」

◇非破壊三次元TOF-RBS分析装置の開発（高井幹夫・大阪大学極限科学研究センター教授）

「ナノレベルの物性・機能の複合計測」

◇中性子スピン干渉原理に基づく中性子スピンエコー装置開発（川端祐司・京都大学原子炉実験所教授）

◇高分解能スピン偏極走査電子顕微鏡（小池和幸・北海道大学大学院理学研究科教授）

◇複合型走査型非線形誘電率顕微鏡の開発（長康雄・東北大学電気通信研究所教授）

「極微少量環境物質の直接・多元素・多成分同時計測」

◇非解離イオン化法全プロファイル分析標準計測装置（伊永隆史・東京都立大学大学院理学研究科教授）

◇大気浮遊粒子用蛍光X線分析装置の開発（谷口一雄・大阪電気通信大学工学部教授）

◇収束イオンビーム／レーザーイオン化法による単一微粒子の履歴解析装置（藤井正明・東京工業大学資源化学研究所教授）

◇光イオン化質量分析法による微粒子・微量成分計測（松見豊・名古屋大学太陽地球環境研究所教授）

【機器開発プログラム（領域非特定型）】

◇半導体素子増幅による光検出器の開発（相原博昭・東京大学大学院理学系研究科教授）

◇非解離イオン化法全プロトモグラフィーの開発（北重公・名古屋工業大学大学院工学研究科教授）

◇先端通信技術を用いた高感度超音波立体視センサ（谷口研二・大阪大学大学院工学研究科教授）

◇汎用走査プローブ顕微鏡シミュレータ（塚田捷・早稲田大学大学院理工学研究科教授）

◇疾患早期診断のための糖鎖自動分析装置開発（西村紳一郎・北海道大学大学院理学研究科教授）

◇生体計測用超高速フーリエ光レーダー顕微鏡（谷田貝豊彦・筑波大学大学院数理物質科学研究科教授）

◇超高感度質量分析のためのサンプル前処理・導入システムの開発（夏目徹・産業技術総合研究所生物情報解析研究センター・機能ゲノムグループタンパク質ネットワーク解析チーム・チームリーダー）

◇四探針STMの制御系および多機能ナノチューブ探針の開発（長谷川修司・東京大学大学院理学系研究科助教授）

【要素技術プログラム】

◇ナノフォーカスX線源とナノ物体計測のための操作観測技術の開発（藤田博之・東京大学生産技術研究所教授）

◇生体分子のオンチップ分離・回収と一分子機能解析（船津高志・東京大学大学院薬学系研究科教授）

◇低速・軽イオン励起特性X線の精密分析技術（古屋一夫・物質・材料研究機構超高圧電子顕微鏡ステーション長）

◇X線位相情報による高感度医用撮像技術の開発（百生敦・東京大学大学院新領域創成科学研究科助教授）

◇薬物・医療スクリーニングを目指したオンチップ・セロミクス計測技術の開発（安田賢二・東京大学大学院総合文化研究科助教授）

◇超微量用固体NMRプローブの開発（山内一夫・東京農工大学大学院共生科学技術研究部助手）